



Kenya Students' Educational Scholarship (KESTES)

2023 年度年次報告書/

2024 年度活動計画書



KESTES について

Kenya Students' Educational Scholarship

「才能があるのに、がんばっているのに、お金がなくて学校へ行けない。」

そんな子供達を支援するために、青年海外協力隊在ケニア隊員有志によって 1983 年から運営されてきた奨学金支援団体です。

経済的な理由で学業の継続が困難な状況にある優秀なケニア人生徒に対し、セカンダリースクール就学のための学費を支援しています。

組織目標

「教育を通して生徒一人ひとりが夢を実現することを支え、ケニア社会のより良い発展に貢献する」

目次

目次 / KESTES について	・・・	1
新旧会長からの挨拶	・・・	2
奨学生支援～JICA 海外協力隊ならではの支援を目指して～	・・・	3
2023 年度 奨学生紹介	・・・	4
活動実績	・・・	6
運営体制	・・・	9
2023 年度 活動決算書	・・・	10
ご支援いただいた皆様	・・・	12
2024 年度 活動計画	・・・	13
2024 年度 予算	・・・	15
KESTES へのご支援のお願い	・・・	16

新旧会長からの挨拶

平素より KESTES をご支援いただき誠にありがとうございます。皆様の温かいご支援とご協力により、2023 年度も継続して 5 名の奨学生の支援を行うことができました。日頃のご高配に、改めて御礼申し上げます。

前会長から引き継ぎまして、昨年からは会長を務めております諏訪 亘（すわ とおる）と申します。子供たちの未来を教育から支える KESTES の活動に、一生懸命取り組んでいく所存です。会員が教育現場にいる強みを生かして、変化に対応しながらより良い支援を目指していきます。

KESTES が 40 年もの間、活動を継続できたのも、ひとえに皆様のご支援の賜物です。今後も、皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



新会長：諏訪 亘（2023 年 3 次隊 理科教育 キスム郡アワシ）

未だ Covid-19 の影響が残っていた 2021 年にケニアに派遣され、2 年の任期を終える前に KESTES の会長職を引き継ぐこととなりました。前会長の加賀瀬が、Covid-19 で止まっていたケニア国内における KESTES の活動を再び組織化した 2022 年度。2023 年度は組織体制構築を継続して行っていくこと、さらに、奨学生に寄り添った支援を目標に活動しました。

ケニア国内のコロナに係る状況が落ち着いたことで、派遣される隊員の人数も増え、KESTES 会員の人数も増えました。それぞれが持つ KESTES をより良いものにしたいという思いや親身に向き合う気持ちによって、奨学生に寄り添った支援ができたのではないかと思います。さまざまな方面から、たくさんのまなざしで、奨学生ひとりひとりに向き合い、寄り添う支援を。そんな思いで会長を務めました。

KESTES の活動を行った約 1 年半、KESTES 会員をはじめたくさんの方々のサポートがあり、楽しく充実した期間となりました。今年度、新会長のもと組織をさらに拡充し、充実した活動となるよう応援しています。

昨年度、支援してくださった皆さま、本当にありがとうございました。今年度も引き続き、KESTES へのご支援よろしくお願いいたします。



前会長：大谷 和（2021 年 7 次隊 青少年活動 シアヤ郡シアヤ）

奨学生支援 ～JICA 海外協力隊ならではの支援を目指して～

採用プロセス

KESTES では、年間 7 名前後の奨学生を継続的に支援していくことを目標としています。応募に当たって、候補者は以下の応募資格を満たすことが求められます。奨学生候補の推薦者が事前に家庭訪問を行い、家庭環境や生徒の人柄を確認します。定例総会の場にて審査が行われ、KESTES の奨学生として適当と認められた場合採用されます。採用期間は採用された学期から年度末まで、継続する場合は再審査を受けます。

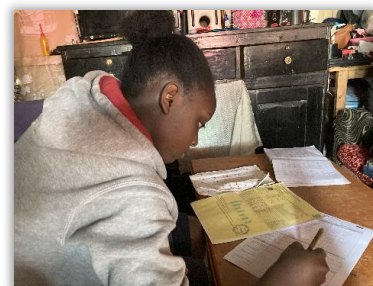
応募資格 2024 年 1 月時点

A) 進級する生徒の場合

- 推薦時に、ケニアのセカンダリースクール（高等学校）に所属する生徒であり、かつ直近の学期成績が学年で上位 20%以内であるか、または成績が C+以上である生徒。
- 但し、直近の The Kenya National Examinations Council 公式発表の上位 100 校に入る高等学校に所属する生徒であり、かつ直近学期の学校成績が学年で上位 50%以内であれば、この限りでない。

B) 進学する生徒の場合

次年度 1 学期より、ケニアの高等学校への進学を予定している者であり、初等学校 8 年生での 3 学期の学校成績が学年で上位 20%以内であるか、または成績 C+以上、あるいは KCPE（Kenya Certificate of Primary Education）の点数が 300 点以上である者。



※ KCPE（Kenya Certificate of Primary Education）は、初等教育修了時に生徒全員が受ける試験です。5科目（スワヒリ語、英語、数学、理科、社会）500点満点で行われます。取得点数により、進学できる高等学校が変わります。

採用後の支援体制

採用後は学費、寮費、教材費、また必要に応じて制服代等が支給されます。本奨学金支援制度の最大の特徴は、奨学生と担当者が信頼関係を築き、奨学生にとって親しい存在になる点です。担当者が学期終了ごとに家庭を訪問し、奨学生と共に振り返りと目標の設定を行うことにより、より良い学習成果が得られるよう支援しています。学習面のみならず、近況を共有するなど交流を深めています。

2023 年度 奨学生紹介



ウィリス・オニャンゴ・アリヨ/ Mbita High School 2 年生

●出身地 : Homabay county, Mbita

●出身民族 : ルオ

●2023 年度の成績 1 学期 : A- 2 学期 : A- 3 学期 : A-

幼いころに母親を亡くし、父親と 5 人の兄弟と暮らしているウィリスさん。勉強の傍ら、父親の農作業や家の手伝いもこなす謙虚で優しい性格の青年です。少しシャイなところがありますが、科学のことを聞くと嬉しそうに話してくれます。将来は外科医になって自分の周りの人を助けたい、そして、自分自身も学校に行けない子供たちを支援したいという明確な将来像を持っています。

(支援期間 : 2022 年 1 月～)



セウリ・マーシー・ワンジク/ST. Angela Kiria-ini Girls High School 2 年生

●出身地 : Nyeri county, Nyeri

●出身民族 : キクユ

●2023 年度の成績 1 期 : D+ 2 学期 : C+ 3 学期 : C+

両親と 2 人の兄弟と 5 人で生活をしています。COVID-19 の流行により父親が失職し、成績が優秀であったにも関わらず高等学校への進学が困難になったことで支援を開始しました。おとなしい性格で学校生活に慣れるまでに時間がかかり、1 年生から 2 年生の前半までは成績が振るわないことがありました。現在は学校生活にも慣れて成績も安定してきています。将来は身近な人を救える医者になることを目標に学業に励んでいます。

(支援期間 : 2022 年 1 月～)



レア・ワンブイ・チェゲ/Maai-Mahiu Girls' Secondary School 2 年生

●出身地 : Nakuru county, Naivasha

●出身民族 : キクユ

●2023 年度の成績 1 学期 : B 2 学期 : B 3 学期 : B+

小学生の時に両親が離婚し、父、祖母、兄の 4 人で暮らしているレアさん。父は小作農の仕事をしていますが、現金収入がほとんどありません。彼女の学費が賄えず、進学を諦めていたとき支援を開始しました。足の悪い祖母に代わり家事を手伝いながら勉学に励み、現在も良い成績を維持しています。将来の夢は、医者となり貧困により医療支援を受けられない人々や病気の人々を支援することと、貧しい学生たちが夢を実現できるよう支援することです。

(支援期間 : 2022 年 1 月～)



ブライアン・ンブヴィ・ムティンダ/ Mbita High School 1年生

●出身地：Homabay county, Mbita

●出身民族：カンバ

●2023年度の成績 1学期：A- 2学期：B- 3学期：B

父親は愛人を作り不在、長男は刑務所に入所中のため、母親と1人の兄、祖母の4人家族です。家計を支えているのは、髪結いの仕事をする母親とバイクタクシーの運転手をする次男だけで、収入は安定せず厳しい生活を送っています。学費を工面できず、一度彼の学力に合った学校を諦めて学費の安い学校へと進学しました。支援により、現在は希望していた学校に入学し直し、勉学に励んでいます。将来は土木技師になり、故郷のインフラ整備に携わりたいと話してくれました。（支援期間：2023年1月～）



テレシア・アルオチ・アキニ/ Maai-Mahiu Girls' Secondary School 1年生

●出身地：Nakuru county, Naivasha

●出身民族：ルオ

●2023年度の成績 1学期：A- 2学期：A- 3学期：A-

テレシアさんは、両親の離婚により、母親、姉弟5人そして姉の子どもと8人で生活しています。家庭訪問に行くと、母親の手伝いをしていたり小さい弟妹たちの面倒をみていたり、働き者でとても優しいお姉さんです。学校が大好きで、寮で友人たちと分からないところを教えあいながら学習することが一番楽しいと嬉しそうに話してくれます。将来は困っている人を助けるために弁護士になりたいという熱い想いを抱いています。

（支援期間：2023年1月～）

※1. 学年は2023年度のを記載しています。

※2. 成績は全科目合計の得点率によって算出されます。数値は以下のようになっています。

得点率 (%)	0~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~
成績	E	D-	D	D+	C-	C	C+	B-	B	B+	A-	A

※3. 高等学校修了時に受験する KCSE (Kenya Certificate of Secondary Education) で、C+以上の成績を修めると大学進学が資格がもらえます。

活動実績



● 定例総会

年度初めと奨学生家庭訪問終了後に、奨学生の情報共有と会計報告、その他活動に関して定例総会を行っています。

2023年度第1回定例総会

開催日：2023年1月7日

開催場所：Skype

内 容：会計報告、新規奨学生採用審査、
現奨学生近況報告、その他

2023年度第2回定例総会

開催日：2023年6月3日

開催場所：Nelson's court serviced apartments、Skype

内 容：会計報告、現奨学生近況報告、
その他

2023年度第3回定例総会

開催日：2023年10月21日

開催場所：Reata serviced apartments、Skype

内 容：会計報告、奨学生近況報告、新規奨学生採用基準、
来年度予算、その他

2023年度臨時総会

開催日：2023年12月15日

開催場所：Skype

内 容：新規奨学生採用審査、その他

★ 総会の役割

定例総会は、全会員の過半数の参加をもって開催されます。
奨学生をより効果的に支援するため、毎回様々な議論が行われます。



● 奨学生家庭訪問

各学期終了後の長期休業中に、担当者が各奨学生のご家庭を訪問しています。実際に足を運ぶのは、奨学生との関係構築だけが目的ではなく、本人や家庭環境の変化を実際に見て把握するためでもあります。訪問先で行うのが、本人や家族からの聞き取りです。成績だけでなく前学期の反省や学校生活全般について、さらに休業期間のご家庭での過ごし方や家庭の状況などについて共有してもらうことによって、より詳しい現状把握に努めています。聞き取りをもとに、今後の目標や次学期の具体的な対策などを奨学生と話し合います。

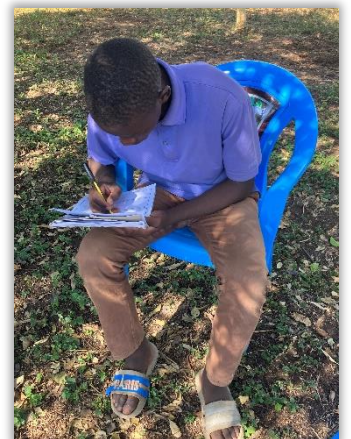
本年度は奨学生 5 名の家庭訪問を年 3 回（4 月、8 月、12 月）、各担当者が行いました。訪問の際、不足している学用品や学費の追加徴収分等も補填しました。一例として、Mbita のウィリスさん（担当：諏訪）の家庭訪問を紹介いたします。



Mbita まで片道約 6 時間、マタツを 3 台乗り継いでいきます。Mbita の町で、仲介役のパンボさん（現地 NGO 職員）と落ち合い、あらかじめ用意してくれたリストをもとに学用品等の買い物をします。



ウィリスさんの家は Mbita から車で 20 分、さらに徒歩 30 分ほどの場所にあります。到着後、成績書類の確認や家族への聞き取りを行います。本人には、所定の書式で前学期の振り返りをしてもらいます。



My Information (Form 1 & 2)					Date
—Circ—	Sex	Term	Place	Name	17 November, 2016
Primary school name		Nguyen Trung Hung			
Secondary school name		Ma Hai Hung			
1. What would your dream for the future					
I would like to be a computer engineer. Because it is a very important position and help many people.					
I would like to be a police officer. Help the police and many poor families.					
2. To be head teacher of your class, how would you do your best to reform our class?					
I would like to be with teacher with experience and do my best.					
I would need my teaching notes and materials. I would like to be my best to do my great teaching.					
3. What are your strengths and weaknesses in studying?					
My strengths are writing and math. My weaknesses are French and my dream is to be a doctor but I have a serious problem.					
My weaknesses are lack of time because my studying the computer teacher.					
4. What information do you want to get from Internet?					
I would like to write book and do my best to create that book and describe the cultural history.					

[illegible]

完成した書式を元に、反省と次学期の方策を話します。勉強面のみならず、友人関係や課外活動等、学校生活全体の状況も共有します。

8月の訪問時には、一緒に実験をしました。
奨学生と顔を合わせ、信頼関係を築きながら
支援を行っています。

● イベント

チャリティーオークション

開催日：2023/3/4

開催場所：Reata serviced apartments、Skype

内 容：帰国隊員寄付品の
チャリティーオークション
(収益 12,150KSH)



協力隊祭り（オンライン参加）

開催日：2023/4/23

開催場所：日本（JICA 市ヶ谷）、Zoom

内 容：広報活動



チャリティーイベント

開催日：2023/8/2

開催場所：Reata serviced apartments

内 容：新会員獲得のための説明会及び
チャリティーカレーの提供
(収益 11,500KSH)

日本人会ふれあい祭り

開催日：2023/9/15

開催場所：ナイロビ日本人学校

内 容：グッズ販売及び広報活動
(収益 95,000KSH)



チャリティーオークション

開催日：2023/10/21

開催場所：Reata serviced apartments、Skype

内 容：帰国隊員寄付品の
チャリティーオークション
(収益 19,320KSH)

※ 活動の収益はすべて奨学生支援に充当しています。

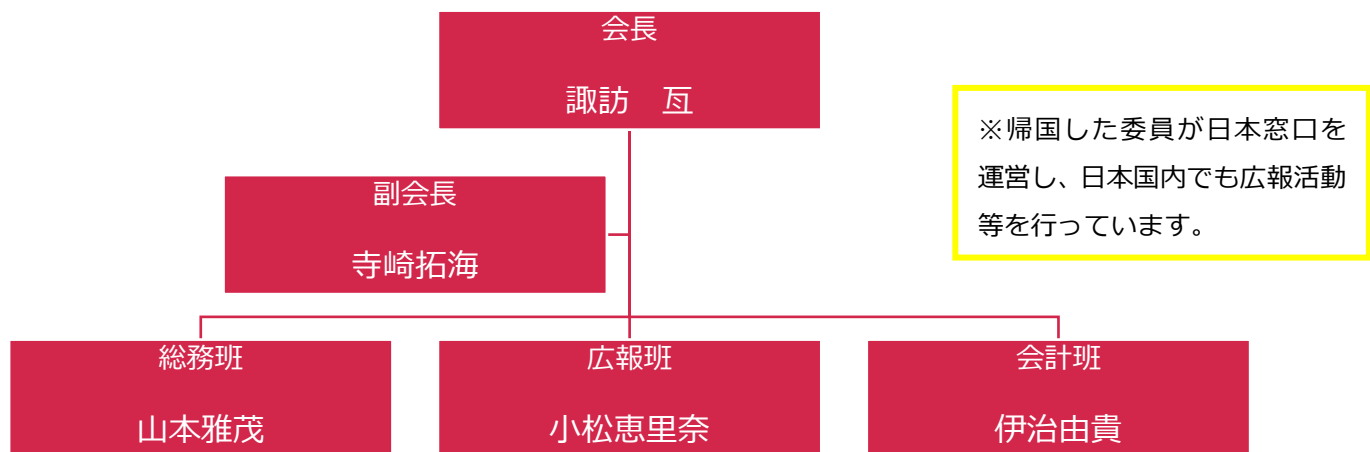
● 広報誌

奨学生の近況等をお伝えするサポーターの皆様向けの広報誌『はらんべえ・れお』、奨学生同士の相互理解や意欲向上のための広報誌『Tuko pamoja』を発刊いたしました。2023 年度は、『はらんべえ・れお』は、2 月、7 月、10 月に、『Tuko pamoja』は 12 月に発刊しました。また、ジャカランダの会様よりご依頼いただいた、会報誌 JAMBO への寄稿もさせていただきました。

運営体制



組織図



* 2024 年 1 月現在

各班事業内容

総務班：制度運営、奨学生採用、奨学生支援

広報班：広報誌発行、HP・Facebook 管理、サポーター管理、商品開発、イベント出店

会計班：予算管理、資金管理、会計監査

2023 年度 活動決算書

会計期間：2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日

換算レート：1USD=161KSH、1JPY=1.1KSH（2024 年 1 月 17 日）

単位：KSH

科目	金額
I.経常収益	
1. 受取会費	
個人サポーター登録費(10 名)	21,000
企業サポーター登録費(2 社)	40,000
2. 受取寄付金（募金）	
受取寄付金(ケニア)	76,731
受取寄付金(日本窓口からの定期送金)	282,918
3. 事業収益	
第 1 回 チャリティーオークション(2023/3/4)	12,150
チャリティーイベント（カレー販売）(2023/8/2)	11,500
第 2 回 チャリティーオークション(2023/10/21)	19,320
グッズ販売事業(T シャツ販売)	78,400
グッズ販売事業(キコイタオル販売)	46,500
4. その他収益	
受取利息	0
為替差益	297,854.75
雑収入	7,004
経常収益計	893,377.75
II.経常費用	
1. 奨学生支援事業費	
① 学費給付事業費（学費、補習代）	
奨学生(Leah)	100,070
奨学生(Mercy)	86,089
奨学生(Wilis)	90,942
奨学生(Brian)	47,585
奨学生(Teresiah)	110,070

② 学用品支給事業費（学用品、教材、個人負担費用）	
奨学生(Leah)	11,278
奨学生(Mercy)	13,281
奨学生(Wilis)	8,275
奨学生(Brian)	35,751
奨学生(Teresiah)	25,931
③ 旅費交通費（訪問交通費、宿泊費）	51,354
2. グッズ調達費用	92,580
3. その他必要経費	
日本人会年会費	6,000
内部イベント関係費	7,028
外部イベント関係費	6,493
4. 管理費	
旅費交通費	910
支払手数料	2,512.75
経常費用計	696,149.75
当期正味財産増減額	197,228
前期繰越正味財産額	1,257,034
次期繰越正味財産額	1,454,262

ご支援いただいた皆様

*2023 年度中に、新規登録または更新していただいたサポーター様を記載しています。

KESTES 個人サポーター（10 名）

KESTES 企業サポーター（2 社）



Magnolia Mining Limited. 様

<http://magnolia-mining.com>



アサンテの会 様

https://www.instagram.com/asante_nairobi/

※ ジャカランダの会様からも多額のご寄付を賜りました。

2024 年度 活動計画

● 2024 年度の奨学生支援

2023 年 12 月の臨時総会にて、家庭環境と KCPE の点数を基準に、9 名の候補者から新たに 2 名の奨学生を採用しました。また、既存の奨学生 5 名はいずれも支援継続の規定成績（C 以上）に到達しており、今年度も支援を継続します。2024 年度は、既存の奨学生 5 名に新奨学生 2 名を加えた、合計 7 名を支援して参ります。

● 新規採用奨学生紹介



マタヨ・コイカイ・クルサイオ/ Oololaiser High School 1 年生

● 出身地 : Kajiado county, Mashuru

● 出身民族 : マサイ

● KCPE の点数 : 397

父親が 6 年前から心臓病で入院しており、ほとんどの家畜をその費用にあて、進学を諦めていたと言います。KCPE は Kajiado county トップの成績で、初等学校は校長先生などから学費を支援してもらっていました。家族は 19 人の大所帯で、マサイの伝統的な土壁の家に住んでいます。マタヨさんは第二夫人の三番目の子で、現在はパイロットになる夢を持っている気さくながらも意思の強い子です。 (支援期間 : 2024 年 1 月～)



マーシー・ジェムタイ/ Kaplong Girls' Secondary School 1 年生

● 出身地 : Nandi county, Kabisaga

● 出身民族 : カレンジン

● KCPE の点数 : 391

農業を営む両親と 5 人の兄弟姉妹と共に暮らしていたマーシーさん。勉強机すらないような家庭環境の中でも、KCPE で 391 の高スコアを取得し、見事奨学生となりました。普段はとてもシャイですが、初めての寮生活にも馴染めているようです。医師を目指して熱心に勉強に取り組んでおり、入学後最初のテストでも早速好成績を収めたとのことでした。

(支援期間 : 2024 年 1 月～)

● 2024 年度の活動予定

活動時期	イベント	詳細
1 月	第 1 回定例総会	前年度会計報告、今年度予算承認、今年度活動計画、 現奨学生近況報告、その他
2 月	広報誌発刊	広報誌『はらんべえ・れお』 41 号の発刊
4 月	奨学生家庭訪問	学習状況及び家庭環境の変化等の聞き取りと確認
5 月	第 2 回定例総会	会計報告、現奨学生近況報告、その他
	広報誌発刊	広報誌『はらんべえ・れお』 42 号の発刊
	チャリティーオークション	帰国隊員寄付品によるチャリティーオークションの開催
8 月	奨学生家庭訪問	学習状況及び家庭環境の変化等の聞き取りと確認
9 月	広報誌発刊	広報誌『はらんべえ・れお』 43 号
	日本人会ふれあい祭り参加	グッズ販売及び広報活動
11 月	チャリティーオークション	帰国隊員寄付品によるチャリティーオークションの開催
	奨学生家庭訪問	学習状況及び家庭環境の変化等の聞き取りと確認
12 月	第 3 回定例総会	会計報告、新規奨学生採用審査、現奨学生近況報告、 次年度活動・予算計画の策定、その他
	広報誌発刊	広報誌『Tuko Pamoja』 2024 年号

2024 年度 予算

会計期間：2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日

*1USD=161KSH, 1JPY=1.1KSH 換算(2024.1.17 現在)

収入の部

単位：KSH

科目	金額
1. 受取会費	
個人サポーター登録費	18,000
企業サポーター登録費	20,000
2. 受取寄付金（募金）	0
3. 日本窓口からの定期送金（2 年に 1 度の送金のため半額を計上）	140,000
4. 事業収益	
イベント（チャリティーランチ・オークション）収入	20,000
グッズ収入	120,000
5. その他収益	
利息・為替益・雑収入	1,680
経常収益（A）	319,680

支出の部

単位：KSH

科目	金額
1. 事業費	
奨学生関連費用	549,000
商品開発・製作費用	20,000
その他必要経費	22,000
2. 管理費	2,000
経常費用（B）	593,000
当期経常増減額（A-B）	(273,320)

KESTES へのご支援のお願い

KESTES は日本・ケニア国内の皆さまからのご寄付に支えられ、活動を展開しています。

皆様からの温かいご支援とご協力、心よりお待ち申し上げます。

1. KESTES 個人サポーター制度

KESTES の趣旨に賛同し、活動を支援してくださる方を募集しています。

1 口 1,000KSH (1,000 円) とし、1 口以上で登録できます。

2. KESTES 企業サポーター制度

KESTES の主旨に賛同し、活動を継続的にバックアップしてくださる

企業様・団体様を募集しています。

●ゴールドコース 10,000KSH～ ●シルバーコース 3,000KSH～

3. KESTES 特別サポーター制度

KESTES の趣旨に賛同し、特定の奨学生が 1 年間通学可能な学費を支援してくださる方や

企業様を募集しています。

*1 年間の学費は、学校や学年毎に異なります。

募金方法

日本在住の方	ケニア在住の方
●銀行振込 KESTES ウェブサイト 振込先：ゆうちょ銀行 店番：〇一九 当座預金：0750111 口座名義：KESTES	●銀行振込 振込先：NCBA Bank Upper Hill Branch, Nairobi 口座番号：6047640031 (KSH)、 6047640047 (USD) 口座名義：MINORI SUZUKI ●Mpesa 送金 *KESTES 専用番号 番号：115563986 名義：MINORI SUZUKI



Kenya Students' Educational Scholarship

●連絡先



kesteskenya@gmail.com



<https://www.facebook.com/jocvkestes/>



KESTES で検索 ! ⇨

